

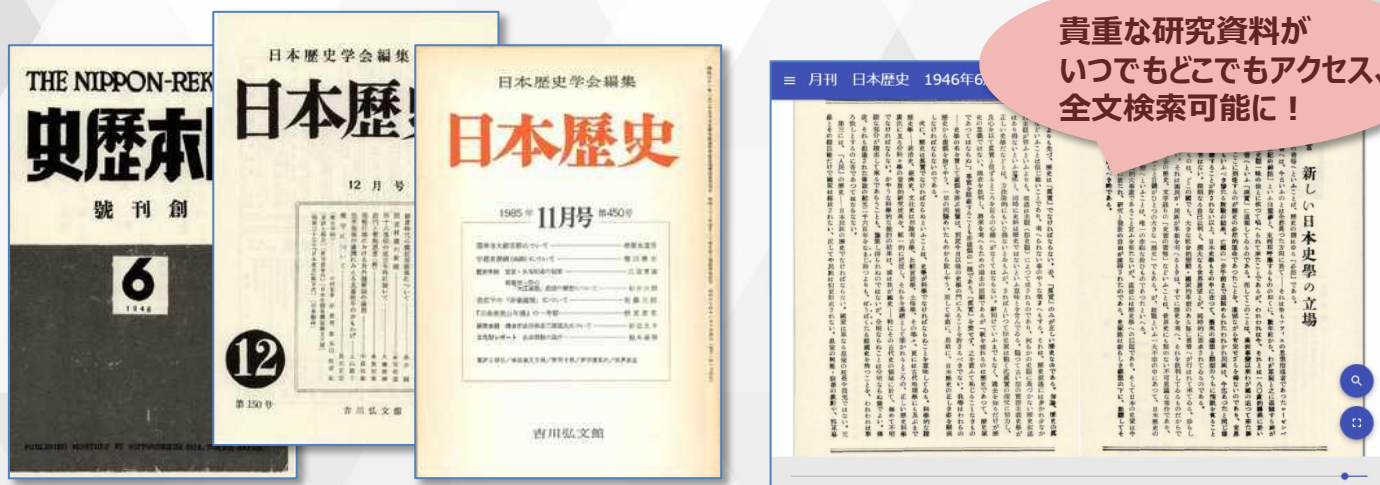
No.KD0239
2021年6月

吉川弘文館

月刊雑誌「日本歴史」電子版 創刊号～450号

戦後日本歴史学の基礎

『日本歴史』は、戦後まもない1946年に創刊された。以来70余年、2021年6月現在877号を数える。研究史上の重要論文、研究動向を伝える座談会など、まさに「戦後日本史研究の基礎を築いた」創刊号（1946年6月号）から450号（1985年11月号）までの《電子版》。



貴重な研究資料が
いつでもどこでもアクセス、
全文検索可能に！

買い切りセット（分売不可）

①創刊号～150号 KS0000079	同時アクセス1（本体価）	同時アクセス3（本体価）
	¥286,000（※）	¥429,000（※）
NEW ②151号～250号 KS00000326	同時アクセス1（本体価）	同時アクセス3（本体価）
	¥286,000	¥429,000
NEW ③251号～350号 KS00000327	同時アクセス1（本体価）	同時アクセス3（本体価）
	¥286,000	¥429,000
NEW ④351号～450号 KS00000328	同時アクセス1（本体価）	同時アクセス3（本体価）
	¥286,000	¥429,000

※②～④のいずれかのセットを
①と一緒にご購入されると、①が特価に！

①創刊号～150号 KS00000331	同時アクセス1（本体価）	同時アクセス3（本体価）
	¥220,000（特価）	¥330,000（特価）

約23%OFF

■復刻版の刊行にあたって

第二次大戦の敗戦後、歴史学界は永年の禁縛が解けて百家争鳴とも言うべき状況が現出した。紙不足のその時代においては、それらの諸論考を掲載すべき専門誌は少なく、新聞や雑誌など、紙面のあるに乗じてその意見なり研究成果なりを吐露したのであった。

その中において、昭和二十一年六月に『日本歴史』が創刊された。その編集方針は左右に偏らず、しかも幅広い研究業績を包含して、正しい歴史知識の普及に努めることにあった。そこで研究者だけでなく歴史愛好者にも親しまれる雑誌としての性格づけがなされた。創刊当時においては、諸般の事情から月刊を貫くこともできず、発行所もしばしば変更しなければならない時期もあった。

しかし内容を墮さない編集方針や当事者の努力によって、戦後続出した多くの雑誌が廃刊に追い込まれた中であって『日本歴史』に期待を寄せる人が多くなり、次第に読者も増加したのであった。かつ本誌に掲載される論文は、学界において基準とされる研究水準を示すものと見なされるようになった。

その一方において、編集母胎としての日本歴史学会の基礎も固まり、発行所も吉川弘文館に移ってからは経営上の心配もなくなり、内容の充実とともに読者も増加し日本歴史学の専門誌としては最大部数の発行をみるに至ったのである。その間に、多くの名論文が掲載されて、学界での論争の端緒となったものもあれば、学説として定着したものもある。

また、本誌はしばしば座談会を催して、事宜に応じた問題を採り上げ、それぞれの専門家の意見の開陳を求めたり、歴史教育に関する問題点の指摘を掲載したこともある。「書評と紹介」や「雑誌論文目録」などのほかに、「文化財レポート」によって史跡などの指定物件やその内容を紹介したり、「歴史手帖」や「研究余録」で研究者の珍しい観点や史料の提供を受けるなど、日本歴史の全体についての眼くばりを忘れないようにしてきた。

こうして四十年余を経過して、本誌は平成二年一月号をもって500号を迎えることになった。それを記念する意味も含めて創刊号から150号までの復刻を計画した。前述したような状況で、初期の発行部数は少なく、今日それをまとめて求めることは極めて困難で、ほとんど不可能に近いのである。どうかこの機会に、戦後十五年間の日本歴史学界の推移発展の跡を探り、その間に掲載された論考を通じて新しい研究への足がかりとしていただければ幸いである。

日本歴史学会会長 児玉幸多

※本稿は平成2年（1990年）2月に『日本歴史』創刊号（昭和21年6月号）～150号（昭和35年12月号）の復刻版の刊行にあたって、当時の日本歴史学会の児玉幸多会長によって著されたものである。その後も『日本歴史』は毎月刊行が続けられ、令和3年（2021年）6月現在、通巻877号に至っている。

※KinoDen電子書籍版はこの底本を元に電子化されております。

出版社からのおすすめ！

本誌は、内容豊富な日本史専門の月刊雑誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、中学・高等学校の社会科教員、日本史関係の学生・大学院生・研究者、及び一般の歴史愛好者まで、幅広くご購入、ご愛読をいただいております。

古代から近現代にいたる各時代の研究論文の発表の場であるだけでなく、日本史に関する情報誌の役割も果たしています。

特に巻末の広告頁は平均32頁、主要出版社だけでなく地方出版社、自治体などの歴史関係の書籍を多数ご案内しています。独自ルートで調査した「新刊書案内」と併せ、歴史書に関する貴重な出版情報源としてご利用いただけます。

